

2013.6

話題のプロジェクトを本邦初公開！

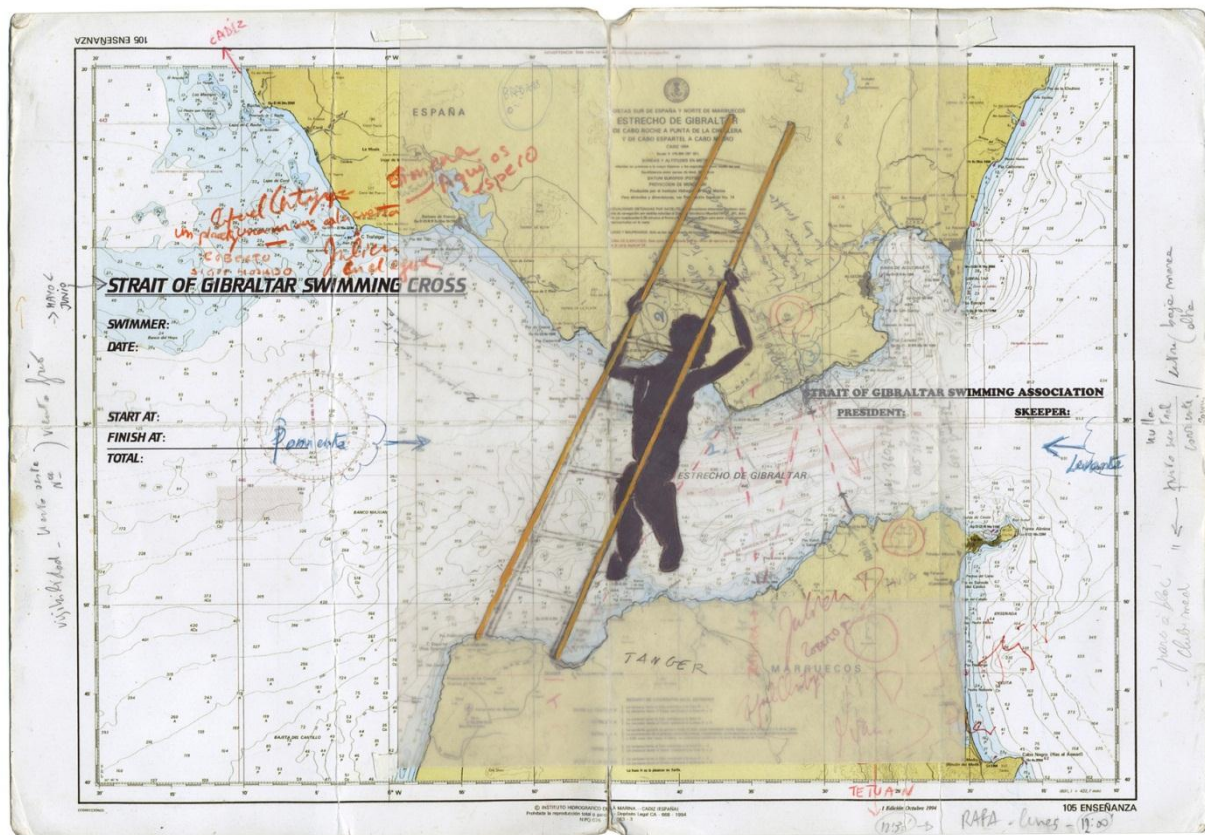
フランシス・アリス展

GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編

会期： 6月29日(土) - 9月8日(日)

フランシス・アリスのこれまでの足跡を概観した「MEXICO SURVEY メキシコ編」(2013年4月6日～6月9日)に引き続き、6月29日(土)から開催する「GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編」では、ジブラルタル海峡によって隔てられたヨーロッパとアフリカ、二つの大陸を海を渡ることもたちの列によってつなぐ、というプロジェクトを紹介します。本作は、アリスにとって近年最大のプロジェクトでありながらほとんど公開される機会のなかった話題作です。

近年のフランシス・アリスの問題意識を色濃く映し出す本プロジェクトを、映像、絵画、立体作品、写真、ドローイング等、多様な媒体を通してその全容を紹介します。



広報用画像①

《「川に着く前に橋を渡るな」のための習作》

油彩、鉛筆/トレーシングペーパー

作品紹介

「この海峡は、現代がかかえている矛盾をみせるのに格好の場所と思われた。グローバル経済を推進しながら、一方で大陸をまたぐグローバルな人の流れを制限しなければならないという矛盾をね。」

「人の橋は完全じゃない。欠落をうめるのは見る者のイマジネーションだ。イマジネーションの作用だけが、行為をアートとし、詩を生み出し、瞬間に意味をもたせるんだ。」

—フランス・アリス

メキシコ在住のアーティスト、フランス・アリス(1959-)は、都市の中を歩きまわり、そこから見えてくる日常に潜む問題をとらえて、作家が街なかで行うアクションから数百人の参加者をともなった大規模なものまで、さまざまなプロジェクトを世界各地で行ってきました。そうした行為は、記録映像や写真、物語性をもった魅力的な絵画、ドローイングまで多様な形で展開していきます。

アリスは社会的、政治的問題をテーマとして扱いつつも、直接的ではなく、詩的で物語性に満ちた作品として提示します。たとえ特定地域の問題さへも、地域や文化を超えて誰もが共有できる普遍的な課題へと導くその卓越した表現力は、国際的に高く評価されてきました。

日本初個展となる本展は、二期にわたって初期作品から近作までアリス作品の全貌を明らかにするものです。「MEXICO SURVEY メキシコ編」(4/6-6/9)では、メキシコで制作した作品を中心に、アリスのこれまでの活動を概観しましたが、今回の「GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編」では、作家にとって近年最大のプロジェクトである《川に着く前に橋を渡るな》を紹介します。

本プロジェクトは、2008年にヨーロッパとアフリカを隔てるジブラルタル海峡で実施されました。ジブラルタル海峡は、スペインとモロッコの間をわたる海峡です(下図参照)。もっとも狭いところでは幅14キロで、天気の良い日には対岸をはっきりと望むことができます。

ヨーロッパ大陸とアフリカ大陸が近接する地理的条件から、これまで多くの人々がこの海峡を渡ってアフリカからヨーロッパへ密入国を試みてきましたが、その荒波は簡易なボートで渡ろうとする移民たちの行く手を幾度も阻んできました。このヨーロッパとアフリカを二つの世界に分断する象徴であるジブラルタル海峡で、アリスはスペインとモロッコに住むこどもたちと共に、両大陸に想像上の一つの橋を架けるプロジェクトを実施しました。

サンダルに帆を立てて作ったおもちゃの舟を手を持ったこどもたちが、スペインとモロッコ、それぞれの海岸から一列になって対岸に向かって泳いでいく。そして、水平線の彼方でこどもたちは出会い、一つの橋が立ち現れるというものでした。

グローバル化社会においてモノや情報が自由に国境を越えて行き交う一方で、人の移動はこれまで以上に管理されていく傾向にあります。この現代社会が抱える矛盾にアリスは疑問を投げかけます。

私たち日本人にとっても移民に対する対応はますます考えていかななくてはならない課題であり、ましてや、周辺諸国との領土問題が絶えない中で、二つの異なる文化に一本の橋を繋ぎ、対話の地平を切り開く本作品は非常に示唆に富んだものになるでしょう。



世界で最も重要なアーティストの一人、フランシス・アリス。その近年で最大のプロジェクトを大公開。

2010年にテート・モダンで、2011年にはニューヨーク近代美術館で大規模個展を開催し、2012年には世界で最も注目される国際展の一つ「ドクメンタ13」に招聘され、世界のアートシーンにおける評価を確固たるものしてきたフランシス・アリス。そのアリスにとって近年最大のプロジェクトである《川に着く前に橋を渡るな》の全貌をここ日本で公開します。

一つのプロジェクトをさまざまなメディアを通して多角的に紹介。

アクションの記録としての映像と、作家のイマジネーションの世界が展開する100点にも及ぶ絵画とドローイング。そして、アクションで使用されたサンダルでできた舟の模型を使ったインスタレーションに、写真や彫刻。《川に着く前に橋を渡るな》はこうした多様なメディアから構成されますが、これらを通して現実とフィクションが入り混じる作家の思考のプロセスを見ることができます。さらに、一つのジャンルにとらわれず、さまざまな領域を自由に横断するアリスの表現活動もはっきりと見えてきます。

本展「ジブラルタル海峡編」にあわせてアリスの手記を所収した展覧会カタログを出版。

キューバとアメリカで実施した《橋》(2006年)と、スペインとモロッコを繋ぐ《川に着く前に橋を渡るな》の一連の「橋」プロジェクトについて、アリスが綴った手記を所収する展覧会カタログが青幻舎より出版されます。プロジェクトがどのように生まれて展開してきたのか、作家自身が示唆に富んだ言葉で語ります。なお本書は、日本で初めて出版されるフランシス・アリスの書籍となります。

作家略歴

1959年ベルギー、アントワープ生まれ。現在メキシコシティ在住。

ヴェネツィアで建築を学んだ後、1986年メキシコに渡る。当初は建築家として働くも、1989年頃よりアーティストとして作品を制作し始める。

主にメキシコやラテンアメリカの社会状況の寓意に満ちた作品を制作し、その形式はアクション、映像、絵画、写真など多岐にわたる。90年代後半よりヴェネツィア・ビエンナーレやイスタンブール・ビエンナーレなどに招待され、国際的に注目される。2010年大規模個展がロンドンのテート・モダンで開催され、翌年には、ニューヨーク近代美術館に巡回。2012年には、5年に一度の国際展「ドクメンタ13」(ドイツ、カッセル)に参加。



作家ポートレート
2008年、モロッコ、写真:Roberto Rubalcava

- | | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1959年 | ベルギー、アントワープで生まれる。 |
| 1978-83年 | Institut d' Architecture de Tournai(ベルギー、トゥルネー)にて学ぶ。 |
| 1983-86年 | Instituto Universitario di Architettura di Venezia(ヴェネツィア)にて学ぶ。 |
| 1986年 | メキシコに移住。 |
| 1998年 | 第24回サンパウロ・ビエンナーレに参加。 |
| 1999年 | 第48回ヴェネツィア・ビエンナーレに参加。 |
| 2001年 | 第7回イスタンブール・ビエンナーレ、第49回ヴェネツィア・ビエンナーレに参加。 |
| 2003年 | ローマ現代美術センターにて個展「預言者と蠅」を開催。
その後、クンストハウス・チューリヒ、ソフィア王妃芸術センター(マドリッド)等に巡回。 |
| 2006年 | SCHAULAGER(スイス、バーゼル)にて個展「サイン・ペインティング・プロジェクト(1993-1997)」、
ハーシュホーン美術館(ワシントン)にて個展「ブラック・ボックス」を開催。 |
| 2010年 | テート・モダン(ロンドン)にて個展「虚偽の物語」を開催。
その後、Wiels(ベルギー、ブリュッセル)とニューヨーク近代美術館へ巡回。 |
| 2012年 | ドクメンタ13(ドイツ、カッセル)に参加。 |

展覧会情報

展覧会名	フランス・アリス展 GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編
会期	2013年6月29日(土) - 9月8日(日)
開館時間	10:00~18:00 *7月19日、26日、8月2日、9日、16日、23日、30日、9月6日は10:00~21:00 *入場は閉館の30分前まで
会場	東京都現代美術館(〒135-0022 江東区三好4-1-1) 企画展示室3F
休館日	月曜日(7/15は開館)、7/16
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
協力	メキシコ大使館、公益財団法人フランダースセンター、 NECディスプレイソリューションズ株式会社
観覧料	一般1,100円/ 大学生・65歳以上800円/ 中高生600円/ 小学生以下無料 *20名以上の団体は2割引 *本展チケットでMOTコレクションもご覧になれます。 *身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と その付添者(2名まで)は無料。
関連イベント	①「ジブラルタル海峡編」オープニング記念トーク 日時:6月29日(土)13:00-15:00 出演:フランス・アリス、クアウテモック・メディナ(MUAC(メキシコ自治大学付属現代美術館) チーフキュレーター) 会場:B2F講堂 参加費:無料 定員:200名(当日受付/先着順) ②トークセッション 日時:7月21日(日) 15:00-17:00 出演:杉田敦(美術批評家、女子美術大学教授)、管啓次郎(詩人、明治大学教授) 会場:B2F講堂 参加費:無料 定員:200名(当日受付/先着順) ③キュレータートーク 日時:8月4日(日) 15:00-16:00 出演:吉崎和彦(本展担当学芸員) 会場:B2F講堂 参加費:無料 定員:200名(当日受付/先着順)
展覧会カタログ	『川に着く前に橋を渡るな』/ 青幻舎より2013年6月29日刊行予定(当館にて先行販売) 作家書き下ろしによる『川に着く前に橋を渡るな』の制作日誌を中心に作品図版や論考を 収録。
美術館お問い合わせ	03-5245-4111(代表) http://www.mot-art-museum.jp/ 展覧会特設サイト http://www.mot-art-museum.jp/alys/ 展覧会公式Facebookページ http://www.facebook.com/MOT.Alys
展覧会スタッフ	企画 吉崎 和彦/ 学芸スタッフ 森 千花
同時開催	「オバケとパンツとお星さま」 「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」 「MOTコレクション 第1部 わたしたちの90年 1923-2013 第2部 ほくからきみへーちかくておいたび」 *本展と「オバケとパンツとお星さま」「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」展の 3展セット券もございます。 一般2,000円/ 学生・65歳以上1,500円/ 中高生1,000円

広報お問い合わせ先

東京都現代美術館 広報班

野口玲子 r-noguchi@mot-art.jp 小原久美子 k-ohara@mot-art.jp

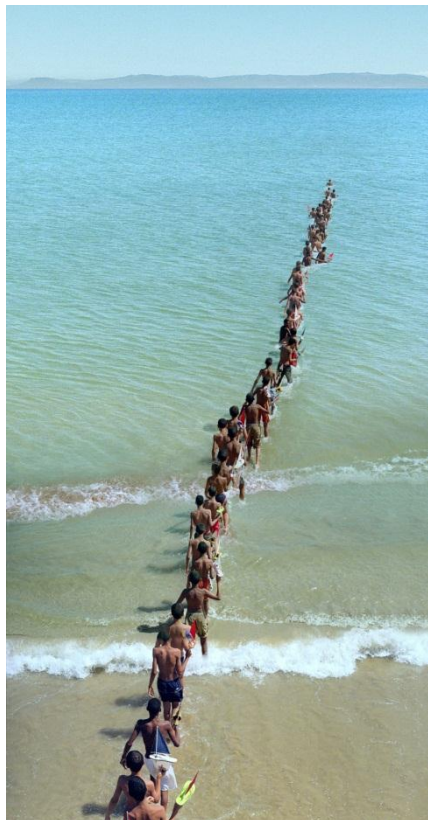
TEL 03-5245-1134(広報直通) FAX 03-5245-1141

広報用画像

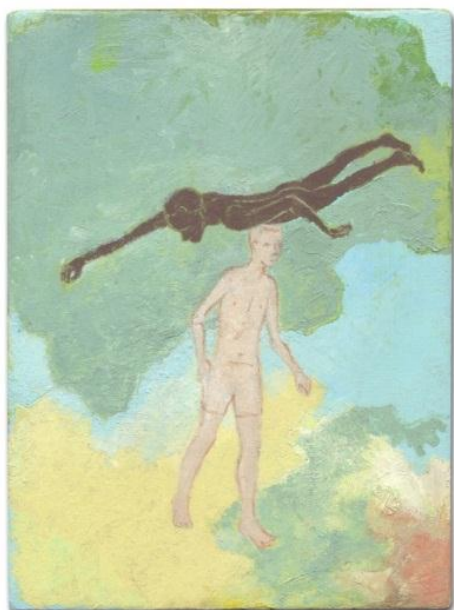
本展広報用画像として表紙画像と下記の6点をご用意しております。
掲載ご希望の方はお手数ですが別紙にご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。



②《川に着く前に橋を渡るな》2008年、ジブラルタル海峡
アクションの記録映像と写真 Photo: Jorge Golem



③《川に着く前に橋を渡るな》2008年、ジブラルタル海峡
アクションの記録映像と写真 Photo: Jorge Golem



④《無題(「川に着く前に橋を渡るな」のための習作)》
油彩、ろう画/木製パネルにキャンバス



⑤《無題(「川に着く前に橋を渡るな」のための習作)》
油彩、ろう画/木製パネル



⑥《無題(コヨーテ、2006-08年、「川に着く前に橋を渡るな」のための習作)》
2006-08年
油彩、ろう画/木製パネルにキャンバス



⑦《川に着く前に橋を渡るな》2008年
ビデオ、絵画、ドローイング、彫刻、写真によるインスタレーション
シャルジャ・ビエンナーレ11(2013)におけるインスタレーション風景
Image courtesy of Sharjah Art Foundation

フランシス・アリス 展

東京都現代美術館 事業推進課企画係 広報班宛
FAX. 03-5245-1141

GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編

本展覧会広報用素材として、7点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はEメールにてお申込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記ください。

② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌(紙)、DVD、CD等をお送りください。

媒体名: 『 』

○印をおつけください

種別: TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日:

御社名:

ご担当者名:

Eメールアドレス:

@

(〒 -)

ご住所:

お電話番号:

FAX:

ご希望の図版番号に ✓ をおつけください。

- ① 《「川に着く前に橋を渡るな」のための習作》
油彩、鉛筆/トレーシングペーパー
- ② 《川に着く前に橋を渡るな》2008年、ジブラルタル海峡
アクションの記録映像と写真
Photo: Jorge Golem
- ③ 《川に着く前に橋を渡るな》2008年、ジブラルタル海峡
アクションの記録映像と写真
Photo: Jorge Golem
- ④ 《無題(「川に着く前に橋を渡るな」のための習作)》
油彩、ろう画/木製パネルにカンヴァス
- ⑤ 《無題(「川に着く前に橋を渡るな」のための習作)》
油彩、ろう画/木製パネル
- ⑥ 《無題(コヨーテ、2006-08年、「川に着く前に橋を渡るな」のための習作)》
2006-08年
油彩、ろう画/木製パネルにカンヴァス
- ⑦ 《川に着く前に橋を渡るな》2008年
ビデオ、絵画、ドローイング、彫刻、写真によるインスタレーション
シャルジャ・ビエンナーレ11(2013)におけるインスタレーション風景
Image courtesy of Sharjah Art Foundation

プレゼント用招待券をご希望の場合は✓をおつけください。 10名様 / 20名様

広報お問い合わせ先: 東京都現代美術館 事業推進課企画係 広報班

野口 r-noguchi@mot-art.jp 小原 k-ohara@mot-art.jp

東京都江東区三好4-1-1 TEL.03-5245-1134(直通) / FAX.03-5245-1141